

1. 施設運営全般について

資料 4

項目	質問	当市	貴市
(1)	施設運営の組織体制(役割・人数など)について教えてください。	①運営形態:市直営 ②配置人員:会計年度任用職員9名 (交代勤務により常時2名体制) ※9~17時の昼間帯、17時~21時の夜間帯でそれぞれシフト制。	
(2)	指定管理者である「まつどNPO協議会」の団体設立の経緯について可能な範囲でご教示ください。	直営のため該当なし	
(3)	施設の設立以後、民営化への転換の過程でどのような課題があり、どのようにそれをクリアされましたか。	直営のため該当なし	

2. 窓口での相談対応について

項目	質問	当市	貴市
(1)	相談員をどのように採用・育成していますか。	窓口は会計年度任用職員のみで、相談は軽微なもののみ対応。必要に応じて課に繋いでいる。 ※採用・育成は行っていない。	
(2)	団体から個人まで、幅広い対象者にとって気軽に相談できるような工夫していますか。	サポートセンター登録団体の一部で構成する運営協議会の委員と協働で、「何でも相談窓口」を開設。 ※ただし、随時開催ではなく事前調整の上日程を決めて実施。センター内での周知も十分ではなく課題。	
(3)	FAQ整備やAI活用など、効率化のために実施していることがあれば教えてください。	未実施	
(4)	相談の対応フローについてご教示ください。また、専門的な相談内容(会計、労務など)に応じて専門家へ繋ぐなどの体制はありますか。	1. 相談対応フロー ①窓口で対応不可の相談について、「何でも相談窓口」を案内 ②相談者が同窓口へ申込 ③課職員が相談内容を聞き取り ④運営協議会委員と情報共有 ⑤相談会実施(関係者一堂集合) 2. 専門家へ繋ぐ体制 ・現時点で明確なものはなく課題。	

3. 「コーディネート(※)」について

※ボランティア希望者と活動場所や団体の仲介、団体間の情報共有、活動協力や、行政・企業と市民活動団体の架け橋になるようなサービス

項目	質問	当市	貴市
(1)	コーディネーターの職務はどのような内容ですか。事務(バックオフィス)とはどのように役割分担していますか。	—	
(2)	コーディネーターの採用および育成はどのように実施されていますか。	—	
(3)	コーディネートに必要な情報(団体情報や人脈)は、どのように確保していますか。また、データベース化などはしていますか。	課の職員の職務を通じての人脈や経験に基づいて対応している。何でも相談の対応履歴はデータベース化している。	

4. 広報・PRについて

項目	質問	当市	貴市
(1)	広報誌のターゲット読者層(年代や団体、個人等)や編集方針があれば教えてください。	明確なターゲット設定や編集方針はない。	
(2)	広報誌の紙面構成や掲載内容についてどのように工夫されていますか。また、情報収集は誰がどのように実施されていますか。	団体及び市民を対象にアンケートを実施し、読者のニーズに合致した誌面構成を検討中。情報収集を誰がどのように行うかも課題。	
(3)	WEBサイトやSNSの情報発信において、情報量の確保や必要な人に届けるという点で何か工夫されていますか。	発信内容は課主催事業の告知・報告の他、運営協議会委員の団体取材内容などがメインで、情報の質・量の面や、発信方法を含め課題。	

5. 事業の実施について

(1)	サポートセンターが企画・開催するイベントや講座について、どのようなものを実施されていますか。PR方法も含めて教えてください。	センターが直営のため、主に以下のイベントを市主催事業として運営協議会との協働で実施。 ①団体向け講座 ②市民向けワークショップ <PR方法>市広報、市公式SNS(X、LINE等)運営協議会アカウントX、公共施設へのチラシ配架、登録団体への直接メール案内、他	
(2)	講座等の事業の実施にあたって、アイデア出しや講師の選定などを含めた企画・運営全般をどのように実施されていますか。	・センター事業:課が事務局となり、サポートセンター運営協議会との協働(毎月の部会での協議)により運営。 ・市民活動フェア:別途実行委員会を組織して運営。 ・その他:生涯教育関連の人材育成を担うふなばし市民大学校と連携し、学生と団体とのマッチングなどを実施。	
(3)	地域活躍塾について、受講者の修了後の進路(活躍の場の設定など)はどのようにフォローアップされていますか。	同様の事業がないため該当なし	

6. その他

項目	質問	当市	貴市
(1)	利用者の増加に向けて取り組んでいることがあれば教えてください。	・情報収集スペースの設置や団体活動のマンスリーパネル展を開催。 ・一般市民向けワークショップなどのイベント開催	
(2)	センターの機能や役割について、特徴的な取組や今後さらに力を入れていきたいと考えていることを教えてください。	相談対応やコーディネート機能が課題と捉えており、今後力を入れたいと考えている。	
(3)	センターの「目指すべき姿」やそれを実現する計画、またそれを具現化するための組織内の成果指標などはありますか。	市民活動サポートセンターの目指すべき姿などを示しているものは現状ない。センター登録団体数を市実施計画における1つの指標としている。	
(4)	センターの事業等を通じて、市民活動の活性化に繋がっているかの効果測定や事後検証を行っていますか。	個別事業のアンケート分析などは行っているが、センター事業全般に係る十分な効果測定や検証はできていない。	

1. 組織体制について

項目	質問	当市	貴市
(1)	貴班の組織体制について教えてください。(職員配置等)	配置人員:課長、課長補佐(市民協働係)係長1名、係員2名、会計年度任用職員2名 ※他に男女共同参画係、男女共同参画センターを所管し、課長が両センター所長を兼務	
(2)	貴班の主な担当業務を教えてください。(市民活動・市民協働推進担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動フェアの実施 ・夏のボランティア体験の実施 ・市民公益活動公募型支援事業の実施 ・市民活動総合補償制度の運営 ・市民活動サポートセンターの管理・運営 ・同センター運営協議会の運営 ・同協議会各部会の開催・運営および協働による事業の実施 ・市民活動ボランティアスタートアップの実施 ・ふなばし市民力発見サイトの運営 ・情報誌「しみんりよく」の発行 ・何でも相談窓口の実施 ・市民協働推進委員会の運営 	
(3)	市民活動の活性化や市民協働の推進に関する庁内の連携体制や職員育成はどのようになっていますか。役割分担も含め教えてください。課、市民活動センター、庁内他課および他施設(文化センター、他公共施設)など	<ul style="list-style-type: none"> ・課長補佐職を充て職とした「市民協働推進員」制度があるが、ほぼ実働しておらず課題となっている。 ・市民活動サポートセンター運営協議会に、市ボランティアセンターや社会教育課などにオブザーバー参加してもらっている。 ・年に1回、中堅職員向け協働に関する研修を開催、他新規採用職員1年目、2年目に研修を実施 	
(4)	課内での連携体制はどのようになっていますか。(自治会担当とNPO担当との連携など)	町会・自治会は同一部内の別の課が所管しており、事業毎の連携や協働推進委員会への委員を選出頂くなどの連携を実施している。	

2. 協働の推進について

項目	質問	当市	貴市
(1)	条例や計画の運用について、現時点で課題となっていることなどあれば教えてください。	<p>推進の根拠は船橋市市民協働の指針(平成30年3月改定)による。課題としては主に以下の2点</p> <p>①指針のアップデートが必要となっており、改定を検討している。</p> <p>②協働の推進体制が脆弱</p>	
(2)	(1)に関連して、改善のために検討している内容があれば教えてください。	指針の改定と協働の進行管理・推進を行うにあたって、第三者機関を設置した。	

3. その他

項目	質問	当市	貴市
(1)	今後市民活動の活性化や市民協働の推進において、どのような点に力を入れていきますか。	協働推進のための第三者機関を設置し、市民協働の指針の改定や、協働の進行管理・推進を強化していく。また、サポートセンターの機能強化を図っていく。	
(2)	まつど市民活動サポートセンターの設立以後、民営化への転換の過程でどのような課題があり、どのようにそれをクリアされましたか。 (※行政の立場からの観点でご回答頂けると幸いです。)	直営のため該当なし	